

## 審議会での主な意見

	意見	掲載ページ
①	甲賀市ではどういう学校を作るか、学校教育を行うかをアピールし、その先に再編があるという形で進めるべき。	8ページ
②	甲賀市全体としてコミュニティスクールも増えてきているので、それを支える地域の存在をもっと前段に出した方がよい。	8ページ
③	学校の適正規模が当時言われていたが、今はそうではない。多様性を求める甲賀市において地域づくりのために学校のあり方を変えていくことが必要。	5ページ
④	地域とともにある学校づくりはメインの考え方であるので、答申の前段で記述したい。	5ページ
⑤	説明会後に実施するのは推進会議。新しい甲賀の教育の姿が具体的に伝わるのが大事。	5ページ
⑥	小規模校のデメリットの記載が多く、メリットも記載すべき。	9ページ
⑦	予算的な意味で、学校の耐久性も更新していることや、インフラ面、教員の数なども含め、メリット・デメリットを説明しないのかと思う。これもあるから再編もあるということをしっかり説明しないといけないと思う。	資料編
⑧	再編の実現に向けて考慮すべき事項の始めにくるのは、学校規模でなく、学校を中心とした地域づくりをするためにどうしたら良いかということを書くべき。	8ページ
⑨	小規模校、大規模校の議論をするときには、子どもの観点が主流になるが、教員の教育的力量も一定数あるほうが良いと言われている。教員同士が学び合えるし、ある程度のスケールメリットがあった方が良いという意見もある。	11ページ
⑩	学校規模でなく、学校を中心とした地域づくりをするためにどうしたら良いかということを書くべき。	5ページ
⑪	地域の方の理解を得るには、学校という組織を考えながら再編計画を進め、学校を核として地域づくりをすること。	5ページ